

読書活動推進NEWS

福島県教育庁南会津教育事務所
総務社会教育課

1 読書の習慣が身につかないのはなぜ？

「子どもたちが、なかなか本を読んでくれない」というお悩みはありませんか？小学校低学年では読書の習慣があるにも関わらず、中学年・高学年・中学生・高校生になるにつれ、読書から離れていってしまう傾向があるようです。読書の習慣が定着しないのはなぜなのでしょう？

◆本を読む時間がない

実際に忙しくて時間が無い、本を読むには、たっぷり時間が必要だと思っている…、などが考えられます。

◆本を読むのに飽きてしまう

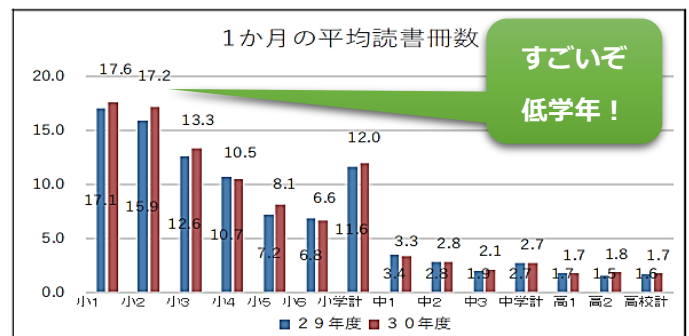
長時間の読書は意外と難しいものです。「眠くなってしまふ」「スマホが気になる」などが原因で、途中で飽きてしまうでしょう。

◆本を読むのが遅くて苦手

社会全体としても活字離れが進み、インターネット情報の流し読みをする傾向があります。読書で一字一句逃さず読もうとすると時間がかかり、読むのが遅いと感じてしまうのかもしれません。

◆何を讀んだらいいのかわからない

本選びで迷っていると「読む」までに時間がかかってしまい、結局「読まない」ことを選んでしまうでしょう。



福島県教育委員会 平成30年度「読書に関する調査結果」より

2 読書習慣の定着にこんなアドバイスはいかがでしょう

◇1日10分から始めよう

一気に読むことを目標にせず、徐々に増やしていきましょう。「1日3ページ」などでもいいですね。

◇興味の持てる本から始めよう

読み切れるものから始める。始まりは趣味の雑誌やハウツー本、短編（ショートショート）でもOK。読書体験を通して自信が付き、習慣化していくことが期待できますね。

◇図書館で数冊借りてみよう

何を購入してよいかかわからない場合には、無料で貸し出してくれる図書館がベスト。読み切れず途中でやめてもいいので気軽です。でも返却の期限があるので時間を見つけて読まない！…が、習慣化につながればいいですね。

◇最後まで読まなくてもよいと考えよう

最後まで読まなければ…と思えば読むのが楽しくなくなるかもしれません。自分には合わない！と気楽に考えるといいですね。

◇読書アプリで読書記録をつくってみよう

読書アプリを使って、感想を記録したり意見を発信したり（インプットとアウトプット）して、感想が苦手な場合は無理せずに、読み始めと終わりの日付けだけでも記録して累積してみましょう。

お薦めの本 インターネットがあれば本は不要ですか??? 『読書する人だけがたどりつける場所』 齋藤 孝【著】